

今後の拠点病院事業の具体的な取組

令和元年度

指名、業務委託



造血幹細胞移植
推進拠点病院

造血幹細胞移植
推進地域拠点病院

※地域拠点病院の指名する数は各拠点病院の裁量に任せる

各ブロック内での人材育成や地域連携における課題などを評価し、解決に向けた事業計画書を、地域拠点病院と相談して策定し、厚生労働省への公募申請時に提出

選定・評価会議で審議

・原則、現在のブロックを前提とするが、計画書をもとに、適切なブロック割に基づく拠点病院の配置数等を決定。

造血幹細胞移植
委員会へ報告

人材育成事業

連携



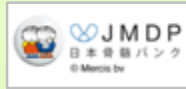
日本造血細胞移植学会



- **ブロック内での人材不足の抽出**
- 診療支援等の人材派遣
- 学会と連携した人材育成（セミナー開催を含む）
⇒ そして地域へ還元

コーディネート支援事業

連携



日本骨髄バンク



現在までのコーディネート期間短縮に向けた取組の継続と強化

- 骨髄バンクとの連携構築
- HCTC等を活用したブロック内での採取や移植における情報共有
- 連携病院への診療支援

造血幹細胞移植
推進拠点病院



地域全体の
情報の収集と共有

造血幹細胞移植
推進地域拠点病院
(拠点病院が指名)

※特に強化を目指す

地域連携事業

連携



地域の医療機関

移植後長期フォローアップ体制の構築

- **ブロック内でのLTFU(Long Term Follow-Up)外来設置施設の増加・共有化**
- **非専門医・診療所等も含めた地域の医療機関との連携強化**
→ 連携のために必要な知識共有のためのセミナー開催
→ **連携可能な医療機関を見える化し、関連施設での共有、患者への情報共有**
→ 地域連携センターによる地域の医療機関や患者からの相談への対応
→ 造血細胞移植患者手帳の普及、配布
- **移植後患者の就労相談窓口の設置**

